

畜産みやぎ

題字
宮城県知事 山本 壯一郎
発行所
仙台市上杉一丁目2番16号
財団法人 宮城県畜産会
電話 (62-9180)
編集発行人 大石 武一
定価 1部50円
印刷所 KK東北プリント



謹賀新年

さる年 (仙台市八木山動物公園)

もくじ

牛乳を飲んでる
食べてる健康一家

知事年頭のあいさつ……………	2
畜産会長年頭のあいさつ……………	3
大河原氏年頭のあいさつ……………	4
「宮城県養豚経営安定推進協議会」発足……………	5
豚肉料理講習会の実施について……………	6
宮城県食肉流通センター新築工事始まる……………	7
東西南北・大崎地域畜産総合巡回指導のあゆみと実施状況……………	7
寒冷地における肥育素牛の育成技術……………	9
“みやぎふるさと牛乳”発売……………	10
「もうかる牛かいの思い出」を聞く……………	11
人物紹介……………	11
畜産物市況……………	11
賀春……………	12



年頭にあたって

宮城県知事
山本 壮一郎

明けましておめでとうございます。

ご一家おそろいでおだやかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

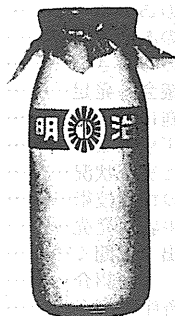
私たちは今、石油問題ひとつをとりましてもまさに「不確実性の時代」そのものの、極めて視界の悪い混沌（こんとん）とした内外の情勢の中で、新しい年1980年代の幕明けの年を迎えました。私たちはいま、過ぎ去った高度成長時代に、いったい何を手に入れ、何を失ったかをもう一度ふり返りながら、人間にとって真の豊かさや幸せとは何かを改めて問い直し、その豊かさや幸せを手に入れることの出来る地域社会を自らの手で創り出す努力をして行かなければなりません。「十年一昔」とはよく言われる言葉ですが、県民の皆さんとともに考えながら進めてまいりました、「新しいふるさとづくり」は、10年間を経過したいま、県内各地で積極的に展開され、個性豊かな特色ある地域づくりが着々と進められています。地域とは、あくまでもそこに住む人々が、そこでよりよい生活を営むことができる望ましい定住の場でなければなりません。そしてその定住の場を実現していくためには、住民の皆さん一人一人が力を合わせて地域づくりを進めていただくことが何より大切なことであると存じます。

21世紀を目指して1980年代は、いまそのスタートが切られました。国際問題、省エネルギー問題、食糧需給の不均衡等数々の諸問題をかかえ、その解決への幕明けの年でもあります。

さて、農業について申し上げますと、この新しい年は我が国の農業が将来に亘って安定的に発展するためにも極めて重要な年になるかと存じます。食糧制度維持を根幹にすえた農業再編対策、生乳、肉豚等畜産物需給の不均衡対策など当面する課題が山積しております。こうした情勢をふまえ、農家の経営が安定的に進展していくことが肝要であり、そのためには、長期的展望に立った計画のもとに、足腰の強い、農業経営の確立を図ることが緊急な課題であります。これらを解決するため、複合農業経営の育成に諸施策を展開しているところであります。特に、畜産につきましても、畜種（家畜）ごとの飼養条件や地域の特性を十分配慮しながら、水稻との複合経営の育成を主体に効率的な生産の振興を図ることとしております。日本の食糧基地としての地域農業の発展をとおり、生産と生活の調和のとれた、しかも活力に満ちた農村社会を築くために積極的な農政の展開を図ってゆく所存であります。

私は80年代の地方の時代にふさわしい人間性豊かな住みよい地域づくりをこれからも力いっぱい進めてまいりますので、県民の皆さんの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

皆様のご健勝と、ご一家のご繁栄を心から祈念いたし新春のごあいさつといたします。



いつもフレッシュ!!

明治牛乳

明治乳業

酪農協の牛乳!

全酪牛乳



全国酪農業協同組合連合会（全酪連）

小牛田工場 遠田郡小牛田町牛飼38

TEL 02293-3-2211-3



年頭のごあいさつ

宮城県畜産会長
大石 武一

新年あけましておめでとうございます。

1970年代の畜産を振り返ってみますと、輸入飼料の安定供給と高度経済成長に支えられ畜産物の需要は大幅に増大し順調な伸展を遂げてまいりましたが、石油ショックを契機に畜産物需要の停滞、畜産物価格の低迷、世界的な飼料穀物需給の逼迫による配合飼料価格の高騰等、いわゆる畜産危機を経験、また国内農産物の需給事情を勘案、米の生産過剰に対応して水田利用再編対策事業が実施されるなど極めて厳しい情勢で推移しました。

その後、国際的な飼料穀物の需給の安定化等により、経営環境は好転し比較的安定した生産動向で推移しましたが、このような条件を背景に、各畜種とも生産意欲が大幅に向上し、畜産物の生産も牛肉を除き需要の伸びを上廻り需給不均衡という事態に直面している現状です。

本県の畜産も、稲作に次ぐ基幹作目として飼養規模、頭数とも飛躍的な増加を示しておりますが、その結果全国傾向と同様生産が消費を上廻り、生乳、豚肉とも計画生産による生産調整が余儀なくされています。

特に豚肉の卸売価格は、8月末から急速に下落し、安定基準価格を大幅に下廻って推移しています。

このため、需給不均衡是正のため、自主調整保管、消費拡大等の措置を講じていますが、中・長期展望にたつて、需要に見合った計画生産を推進することが緊要で、これら状況に対処するため、昨年12月26日宮城県養豚経営安定推進協議会が設置され、豚肉の計画生産を行なうための需給計画策定、指導を行ない養豚経営の安定に寄与することとなっております。

生乳についても、53年度実績の14万トンの1.62%増を目標とした緊急生乳需給対策を策定、酪農の安定化に努めています。

畜産物の需要は、従来のような高い水準ではないにせよ、長期的には安定的な伸びを示していくものと見通されていますが、需給動向を無視した生産拡大には十分留意する必要があります。

水田利用再編対策を中心とする食糧需給の見直しのなかで、安定作目として期待されている畜産が、これら情勢に対処し安定的に発展出来るよう微力ではありますが本会役員一同指導に尽力いたす所存ですので倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。輝かしい1980年代でありますようお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



飼料は みのり

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー用配合飼料
肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号
TEL 石巻 02252 (5) 4171~4

畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事 畜舎工事
さく井工事
ポンプ工事 設計・施工
水処理工事

株式会社 北辰技術

仙台市鉄砲町18番地
電話 (0222) (93)2461



年頭のごあいさつ

前農林水産事務次官
社団法人 中央畜産会顧問

大河原 太一郎

宮城県畜産関係の皆さん、新年おめでとうございます。1980年代という新しい時代の幕あけに当たり、皆様のご健勝を心からお祈りするとともに、私の所信の一端を申し述べさせていただきます。

我が国経済は、昭和48年以降、石油価格の高騰と、これに端を発する幾多の試練に見舞われましたが、国民のたゆまざるご努力のお蔭で見事にそれを克服して参りました。

畜産においても、私が畜産局長時代の昭和47年、48年は、国際的な食糧、穀物の需給に大異変が突発し、穀物の国際価格は急騰し、いわゆる「畜産危機」の事態が発生して、畜産農家経営は深刻な事態に至りました。私は流通飼料の価格補てん機構をつくり、過剰古米を飼料用に半額で払下げる特別立法をすとか、飼料対策の資金制度を創設するほか、生乳や豚肉などの畜産物の政策価格を大幅に上げました。また、畜産経営に対し低利の特別融資措置を講ずるなど、懸命の努力をいたしました。

その後の畜産をみますと目覚ましい発展を遂げており、農業総生産額に占める割合でも、畜産は大きく躍進して第2位の地位を不動のものにいたしており、かつての畜産危機を見事に乗り切って発展成長する畜産関係の皆様には敬意を表したいと思います。

さて、1980年代は、エネルギー問題に象徴されるように、多くの不安定要因に揺さぶられながら世界情勢が推移するなかで、わが国は世界の経済大国として国際化の波を引続きかぶることは明らかであります。しかも一方、国内経済の方はいわゆる安定経済成長期に入るとともに、過去の高度経済成長の落し子である都市問題、環境問題は次第に深刻の度を増しているということは、等しく万人の認めるところです。


1980年代の農業は、安定成長経済と農業再編成の時代であり、農業、畜産は本来国民食糧の安定供給という国民生活の安全保障のための重要な使命をもってありますが、80年代にはこれを本格的に国民経済社会のなかに位置づけることによって、未来への発展の途をきり拓き、食糧の総合的自給力の向上に努めるとともに、都市消費者に対する豊かで安定的な食糧の供給を保証することがその第一の課題になります。これと同じように、緑と水の豊かな農山漁村を核とする自然と人間の調和した日本の地域社会の建設をすすめるという第二の課題が登場しています。

畜産に関してみれば、畜産物が重要になればなるほど、需給の均衡をはかり、畜産経営も強固な基盤に立った安定したものでなければなりません。農産物生産の過剰現象は、米に始まり、水田利用再編対策を強化せざるを得ない事態になりましたが、卵、牛乳、豚肉などの畜産物にも見られるようになりました。しかし、畜産物の場合は米の場合とは異なり消費の伸び以上に生産が伸びたために起った過剰現象であります。したがって、これからは、安全で品質の良い畜産物を消費者の欲しいだけの量に合わせて、計画的に生産することが大切であり、これによって輝かしい、しかも着実な発展が期待できると信じます。


私は、昨年7月、農林水産省を退官いたしました。32年にわたる経験を生かし、厳しい農林水産業の諸条件の解決を政治の面で努めるべきであるとの先輩、友人の励ましを受け、これに応える決意をいたしました。

社団法人中央畜産会では顧問に推挙していただきましたし、畜産関連86団体からご推薦をいただきました。皆様のご期待に沿うべく畜産振興に努力いたす所存であります。






飼い上手 育て上手は……
みのたに……で
動物薬品・獣医器具総代理店
株式会社 美濃谷



こくておいしい大型びん……

森永
ハイグレード牛乳

宮酪乳業株式会社



本店 山形市蔵王成沢字町浦491-2 TEL893121

山形店 山形市山田字羽黒堂5番216 TEL494306

仙台店 仙台市山田字羽黒堂5番216 TEL494306

鶴岡店 鶴岡市大字布目字東通り57-1 TEL240963

いわき店 いわき市常磐湯本栄田3 TEL0246440300

仙台市一番町2-4-28
TEL(代)23-9101

「宮城県養豚経営安定推進協議会」が発足

最近における我が国の豚肉需給は、消費の伸びを上廻る大幅な増加により、需給の不均衡が生じ豚肉の卸売価格は安定基準価格を大幅に下廻って推移し、この基調は生産構造の変化等と相俟って今後長期に亘って継続するものと考えられます。

このため、豚肉消費拡大の促進、自主調整保管の実施等その対策の強化とともに中長期展望にたった計画的生産を組織的に推進する必要があります。

本県においても、これらの情勢に対処して、さきに出来た全国生産者団体で組織する「養豚経営安定推進会議」の設置を受けて、今後の養豚経営の安定的発展に寄与するため、昨年12月26日下記要領により「宮城県養豚経営安定推進協議会」が設置され事業を推進することになりました。

なお、会長には宮城県畜産会副会長百井英一氏、副会長には宮城県農業協同組合中央会副会長渡辺真氏がそれぞれ選出されました。

宮城県養豚経営安定推進協議会設置要領

第1 目的

この会議は、豚肉の計画的な生産を行なうため、豚肉需給に関する調査、計画指導等を行ない、豚肉の生産の安定、合理化及び品質改善を図り、もって養豚経営の安定に寄与することを目的とする。

第2 名称

この会議は、宮城県養豚経営安定推進協議会（以下「協議会」という）という。

第3 事務局

協議会の事務局は社団法人宮城県畜産会内におく。

第4 会長及び副会長

- 1 協議会に会長1名及び副会長1名置く。
- 2 会長は、会務を総括し、副会長は、会長を補佐し会長に事故あるときはその職務を代行する。

第5 業務

協議会は、第1の目的を達成するため、次の業務を行なう。

- 1 豚肉の需給計画の作成及び指導
- 2 豚肉の需給状況の調査
- 3 豚肉の需給に関する啓蒙指導
- 4 養豚経営の改善に関する指導
- 5 前各号の業務に附帯する業務

第6 協議会の構成

- 1 協議会は、別紙に掲げる団体をもって構成する。
- 2 協議会内に会長が指名する委員をもって構成する需給対策委員会を設け、第5の業務を推進するものとする。

第7 協議会の開催

協議会は必要に応じ、会長が招集し、会長は座長を務める。

第8 養豚経営安定推進会議との関係

協議会の業務は、推進会議と密接な連けいのもとに推進する。

第9 その他

この他必要な事項は、協議会において定める。

宮城県養豚経営安定推進協議会構成名簿

- 宮城県経済農業協同組合連合会
- 宮城県信用農業協同組合連合会
- 宮城県農業協同組合中央会
- 日本種豚登録協会宮城県支部
- 宮城県養豚経営者会議
- 宮城県畜産物価格安定基金協会
- 宮城県指定種豚場協議会
- 宮城県配合飼料価格安定基金協会
- 宮城県農業団体農業構造改善推進協議会
- 宮城県畜産会
- サイボク東北牧場
- サンエイ養豚株式会社岩出山農場

畜産の総合商社

- 畜舎消毒装置 ミヤノスプレー
- 送風機 CAファン
- FRP(一輪車用) ミヤノバケット



株式会社 **ミヤノ商事**

泉市南光台四丁目3番16号
TEL (0222) 71-1054~5

雪印「7-7」

コーヒー通のあなたに 6ml・8個入
北海道から・・・



豚肉料理講習会の実施について

—農村地域の主婦を対象—

宮城県畜産課

豚肉が国全体の食肉需要の43%を占め蛋白食品の大きな供給源になっており、生産面においても、年々高い伸び率を示しておりますが、総理府の家計調査による最近の消費動向は2~3%程度と伸び悩みの状態にあります。特に農村部における蛋白食品の供給源は、伝統的な嗜好性もあって魚類に大きく依存しているのが現状であります。

そこで本年度から食肉消費改善普及事業の一環として宮城県食肉消費対策協議会の助成を受け、各地域の畜産振興連絡協議会等が事業主体となって農協婦人部又は生活改善グループ等の農村地域の婦人部組織に対し、豚肉をおいしく食べるための料理講習会を実施することになりました。その事業概要は次のとおりであります。

この豚肉料理講習会のねらいは、豚肉の生産地である農村地域において、豚肉のおいしい食べ方を普及宣伝することによって、農村の食生活の改善に資するとともに消費水準の低い農村地域の豚肉の消費拡大を図るものとし、豚肉料理講習会の実施方法は次により行うこととしております。

- ① 事業主体は、県内の各家畜保健衛生所を単位とする地域畜産振興連絡協議会又はこれに準ずる協議会が宮城県食肉消費対策協議会の助成を受けて実施する。
- ② 料理の内容は、原則として自由なメニューとするが豚肉を使用し、しかも米飯と調和する料理であり、忙しい農村の台所でも容易に料理できるものとする。
- ③ 料理講習を受けられるものは、管内の農協婦人部又は生活改善グループにおいて、指導的立場にある主婦を対象に行うと共に、講習会を受けたものは、地域内の農村の主婦を対象に普及宣伝を進めるための伝達講習が出来るものであること。

- ④ 料理講習に要する経費については、補助金及び事業主体の負担する経費でもって行うことにしているが、材料費のうち米代及他について、参加者から若干の負担をお願いする場合もある。
- ⑤ この料理講習会を実施するにあたっては、農林事務所、農業改良普及所、家畜保健衛生所、市町村、中央会、農協等の関係機関、団体等が緊密に連携し、本料理講習会が農村地域の食生活改善と豚肉の消費拡大に効果的に寄与し得る指導体制のもとに行うものとする。
- ⑥ 事業計画の内容は、別紙のとおりであります。

別紙

豚肉料理講習会実施計画書

事業主体名	実施箇所	対象人員	摘要
仙南地域畜産振興協議会	3ヶ所	180人	※①実施箇所は農業改良普及所単位とする。
中央地域食肉消費改善普及	3	180	
大崎地域畜産振興連絡	3	180	
登米本吉地域	" "	2	120
栗原地域	" "	1	60
石巻地域	" "	(2)	(60)
	(14)	(780)	②()内は9月実施済
計	12	720	

以上のとおり、12月から3月までに実施することとしておりますので、参加希望者は、最寄りの家畜保健衛生所又は農業改良普及所に相談してください。

肉畜係 (滝口)



牧場用柵には 強くて美しくスマートな

東伸製鋼牧柵を!

製造元 東伸製鋼(株)仙台営業所
 仙台市一番町二丁目7-5 TEL 277053
 販売元 塚本商事機械(株)東北出張所
 仙台市花京院二丁目1 TEL 627771
 代理店 本山振興株式会社
 仙台市昭和町6番10号 TEL 246221

システム農業をクリエイトする

STAR

タフで働きものの
 Mr 3000にナビの
 Mr 2000が新登場



THB 2000

スター農機株式会社

仙台出張所 983 仙台市福田町2丁目4-20 佐正ビル内
 0222-58-7301

「宮城県食肉流通センター 新築工事」始まる

(株)宮城県食肉流通公社

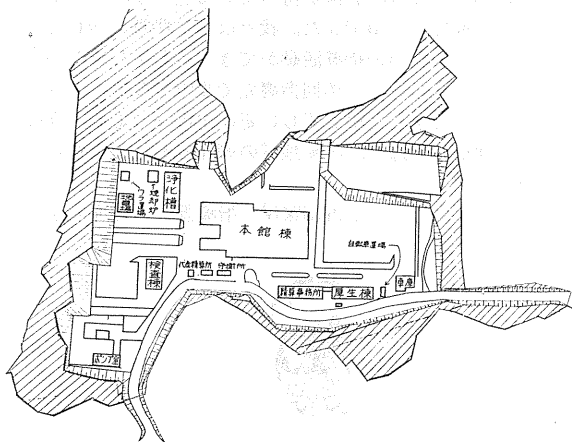
宮城県食肉流通センターの起工式が、昨年12月17日米山町今泉の現地で事業主体となる、(株)宮城県食肉流通公社のほか、関係者約100名出席により挙行された。

同食肉流通公社は、県、市町村、農協、農協連等の、出資により、去る5月に設立した会社である。

食肉流通センターは、昭和55年度完成予定で、同センターは、仙北地区の食肉処理場が小規模で老朽化しているため、既設処理施設の再編整備を図るとともに、農林水産省の総合食肉流通体系整備事業により、大量で広域集配機能のあるセンター施設で、肉畜の安定的生産体系確立及び、消費地への枝肉、部分肉の安定供給推進を目的としている。

15万9千平方メートルの敷地に本館(と畜、解体処理施設、冷凍冷蔵庫等)及び管理棟のほか、さらに地域住民との融和等を考慮し、運動場及び小公園なども建設する。

食肉流通センター略図



処理能力は、と畜が豚換算1日当り800頭(牛50頭、豚600頭)、カット処理は豚換算520頭(牛25頭、豚420頭)で、5日分の冷蔵保管機能を有する。

食肉流通センターの中核とも言える污水处理施設は、CDセッター方式+活性汚泥方式を用いた近代的なものである。

この食肉流通センター完成によって、食肉流通体系の計画生産と安定供給が期待される。

東西南北

大崎地域畜産総合巡回指導 のあゆみと実施状況

大崎地域畜産総合巡回指導が、大崎地域畜産振興連絡協議会の事業として、生ぶ声を上げてから早いもので、満3年を過ぎようとしています。ここに3年間の歩みをお知らせします。

1 発足と必要性

- ① 昭和51年8月、家保、農改(中新田、古川、小牛田)の協議により、大崎地域畜産振興連絡協議会の事業として開始され、さらに、昭和52年度の通常総会において、指導部会、草部会会の2部会制を設け、以来年々指導内容の充実に努めてきました。
- ② この事業が取り上げられた背景には、51年の水田総合利用対策が引金となり、農家の複合経営が進み、畜産に対して大きな関心が高まってきた。特に無家畜農家から有畜農家に移行した農家の多くは、経営技術が未経験であり、飼料の自給、疾病予防、糞尿処理等多くの問題を抱えており、強力な一貫指導を、市町村、農協より求められた。
- ③ 県出先機関の広域化、専門化が進み、それなりの役割を果していたが、農家に対する指導が疎遠化され、ややもすれば指導機関が、バラバラになり総合性を欠き、農家が真に求めているものとは、かけ離れがちになってきた状況下にあった。

画期的な家畜ふん尿処理用
めづまりのない

多板式固液分離機

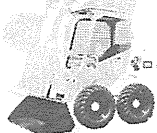
- 生ふん脱水の決定版
- 公害防止に貢献
- 省力化に威力



株式 五十嵐商会

仙台市中央三丁目5番14号

TCM東洋キャットローダ



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社
東北ティー・シー・エム株式会社

983 仙台市日の出町3丁目9-35
電話 0222-95-5517・5511

2 畜産総合巡回指導のねらい

① 指導機関の一本化

従来指導機関において、それぞれ独自の計画で実施されている事業のうち、類似部門については、出来るかぎり併合化を図り、関係機関の横の連携強化により、農家に対し、総合的かつ一元的な指導を行う。

② 戸別指導の疎遠化を補正

指導機関の広域化に伴い、個々の農家に対する指導方法も、集団指導化の方向に進んできたが、反面農家個々に対する、経営的、技術的指導が疎遠化されがちになってきたため、これらを補正するため、総合巡回指導班による、経営、技術面にわたる総合的な指導を行う。

3 畜産総合巡回指導班のしくみ

① 組織

家畜保健衛生所、農業改良普及所、農林事務所、経済連、共済連、畜連、市町村、農協、畜産会

② 指導内容

1) 畜産農家の実態調査、2) 畜産農家の経営及び技術に関すること、3) 家畜糞尿処理技術の普及啓蒙に関すること、4) 公共放牧場等の管理運営に関すること、5) 家畜の疾病予防に関すること。

〔巡回指導班の構成と主な指導分担〕

分担項目	経営	流通	家畜改良	家畜衛生	糞尿処理	家畜飼養	融資	補助	摘要
農業改良普及所	○				○	○	○		
家畜保健衛生所	○	○	○	○	○	○		○	通常の指導班構成員
県経済連	○	○				○			
農協		○	○		○		○	○	
農林事務所							○	○	必要に応じて指導班員に加わる
県共済連				○					〃
市町村					○		○	○	
県畜連		○	○			○			

4 指導実施状況

	酪農	肉用牛	養豚	その他	計
51年度	11戸	7戸	31戸	1戸	49戸
52年度	184	256	140	—	580
53年度	331	173	196	311	1,011
54年度	158	220	128	30	536
計	684	656	495	341	2,176

5 問題点と改善点


- ① 関係機関の本来の事業量が増大し、各農改、月2回の日程がむずかしくなった。
- ② 指導ポイントについて、共通のテキストを早急に作成する必要がでてきた。
- ③ 市町村、農協の理解を得ているものの、人事異動により担当者が変わるため、毎年アピールの必要がある。
- ④ 指導対象農家から事前に指導項目を聴取り、ポイントをしぼって指導すれば、効果が倍増する。

6 結び

過去3年間巡回指導を担当して感じた事は、農家と直接話しができ、農家が持っている色々な、悩みや工夫を把握できた事でした。我々は常に農家に接していなければ、本当の指導活動ができないかもしれないと、強く感じました。又巡回指導先で食堂がなく、カップラーメンで過した事も楽しい思い出の一つです。今後も巡回指導を通じ、大崎地域の畜産振興に資したいと思います。

(古川家保 指導課 秀島理明)





ヒトポンボ

ヒトポンボの新しいシステム

060 齋藤興業株式会社

札幌市中央区北5条西20丁目 電話(代)042-1122番

東北出張所 仙台市原町小田原安養寺下7-145 電話 983

電話57-5348・57-0563

動物用薬品器材のことなら 古い伝統と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市上杉3丁目3-8

東北獣医薬品株式会社

TEL ☎ 7330・7338・7339

仙北営業所 登米郡迫町佐沼萩洗1 02202 (2) 2278-9

山形営業所 山形市小石川四丁目9-24 0236 (23) 9909・9900

古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28 02293 (4) 2018-9

〈畜試だより〉

寒冷地における
肥育素牛の育成技術

—哺育育成期の栄養水
準と肥育期の生産性—

茄子川 重晃

1 はしがき

肉用牛の肥育後期における増体成績が低調で問題とな

っているが、この原因の1つとして子牛の育成期に、とくに濃厚飼料多給による育成が大きく影響していると報告されているので、乳用雄子牛の生時より182日齢までの濃厚飼料の栄養水準を日本飼養標準の100%、80%、60%を給与し粗飼料は牧乾草飽食で哺育育成した素牛について、その後の肥育成績におよぼす影響を検討した。

2 材料及び方法

試験開始は昭和52年3月9日～6月27日の間に随時行ない表1のとおり3区に分けて各区3頭、計9頭を供試し、1頭当りの牛房面積は7.0㎡単飼とし、目標体重は700kgとし、濃厚飼料および稲ワラは自由採食させた。

哺育育成期の平均生時体重はI区38.3kg II区35.2kg III区41.8kgで、182日齢までのDGは、I区0.95kg II区

表1 試験開始時の供試牛の概況

試験区	牛No.	畜種	生年月日	性	産地	開始時		
						月日	日令(日)	体重(kg)
I (100%)	1	ホルスタイン	51. 8. 6	去勢	場内	3. 9	215	239
	4	"	51. 8. 9	"	"	3. 9	218	246
	6	"	51. 10. 9	"	"	5. 10	228	258
平均							220.3	247.7
II (80%)	2	"	51. 8. 6	"	"	3. 9	215	217
	5	"	51. 9. 8	"	"	4. 12	217	234
	7	"	51. 10. 9	"	"	5. 10	228	231
平均							220.0	227.3
III (60%)	3	"	51. 8. 9	"	"	3. 9	218	212
	8	"	51. 10. 17	"	"	5. 20	230	235
	9	"	51. 11. 24	"	"	6. 27	231	200
平均							226.3	215.7

0.85kg III区0.71kgであった。

なお同期における濃厚飼料の摂取量は、日本飼養標準のI区が82.8%、II区が70.1%、III区が58.9%であった

3 結果及び考察

(1)増体成績

肥育期における各区の増体成績は表2.に示したとおりで、区内の発育のバラツキが目立ったが、III区については3号牛が試験開始10週目頃より、慢性の鼓脹症を起し、これが終了時まで及んだためと思われる。

I区については、1号牛の発育が22週頃より渋滞し、試験終了時まで続いたためだが、個体差によるものか、その要因によるものかは不明である。

実測値における各区のDGはI区、II区が0.97kg、III区が0.94kgとなったが、III区は3号牛を除いた場合1.00kgとなり、I、II区より稍々良い発育を示したが、いずれにしても大差はなかった。

表2 肥育期の増体成績(平均)

区分	体重(kg)		増体重(kg)	肥育期間(日)
	開始時	終了時		
I区	247.7	699	451.3	0.97
II区	227.3	710	482.7	0.97
III区	215.7	697	481.0	0.94

(2)飼料摂取ならびに養分摂取成績

配合飼料の期間摂取量は、3頭平均でI区が4,412.1kg(1日1頭当り9.45kg)、II区が4,669.8kg(同9.35kg)、III区が4,506.3kg(8.78kg)となり、1日1頭当りの摂取量では、I区、II区、III区の順で少なくなる傾向を示した。稲ワラの摂取量は1日1頭当りで見るとI区が0.88kg、II区、III区が0.91kgとなり僅かにII、III区が多く摂取した。養分摂取量は配合飼料摂取量と同様の傾向にあった。1kg増体に要した配合飼料の摂取量は、III区が9.37kgと最も低く、II区が9.67kg、I区が9.78kg

となり、哺育育成期における濃厚飼料の給与水準の低い程低くなる傾向を示した。養分摂取量においても同様の傾向にあった。以上のことから、肥育期における飼料の利用性は、哺育育成期における良質粗飼料の摂取量が強く影響するものと思われ、濃厚飼料多給による発育良好の素牛よりも、粗飼料を十分に採食した素牛の方が飼料効率は高くなるものと思われる。

(3) 疾病の発生状況

肥育期間中に発生した疾病は、鼓脹症、下痢症、尿石症であった。発症時には、濃厚飼料の給与を3~4日止めたため発育に及ぼす影響は大きかった。

(4) と殺解体成績

と殺解体成績は次のとおりで、枝肉歩留りは、と殺前体重に対してⅠ区60.0%、Ⅱ区57.9%、Ⅲ区57.1%で哺育育成期の濃厚飼料給与水準の高い順に高くなる結果となったが、区内のバラツキが大きい上、例数も少ないた

め一定の傾向は認められなかった。枝肉価格については、出荷時期が7ヶ月に亘ったため、枝肉相場の変動にも強く影響されたが、kg当りの単価は1,170円~1,360円の間にあった。

(5) 経済性

収入については、枝肉代のみで計算すると、と殺時期の違いによる市場性の変動などで一様でないが、平均的にはⅡ区499,390円、Ⅰ区491,925円、Ⅲ区490,803円の順であった。

支出については素牛代+飼料費のみとしたが、素牛代算出基礎は当時の生体重相場単価×試験開始時体重=素牛代として算出したものである。支出合計は、Ⅱ区370,083円、Ⅰ区366,836円、Ⅲ区355,352円で、従って差益はⅢ区135,451円、Ⅱ区129,307円、Ⅰ区125,089円の順になり、Ⅲ区が最も高い収益となり、次いでⅡ区、Ⅰ区となった。

表3 差益計算

		(各区平均1頭当り)		
収支	項目	試験区		
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
収入	枝肉代	491,925	499,390	490,803
	素牛代	133,375	125,033	118,617
支出	肥育配合	229,223	240,495	232,074
	肥育費			
	稲わら	4,238	4,555	4,661
	計	233,461	245,050	236,735
	合計	366,836	370,083	355,352
差益		125,089 (100)	129,307 (103.4)	135,451 (108.3)

注1. ()はⅠ区を100とした場合の指数

2. 配合飼料単価51.5円/kg、稲ワラ単価10円/kgとして算出した。(研究第1部肉牛科長)



“みやぎ
ふるさと牛乳”
を発売

牛乳の消費量は、年々着実に伸びているものの近年の生乳生産量はそれを上廻るペースで進んでいるため、全国的に生乳生産過剰にあり、生産者自らの手で我国の生乳生産量を21万tに抑制した637万tにしようとの努力が行われていることは概に周知のとおりである。本県でも生乳生産量を前年度の1.2%増に抑えた148,000tにしようとの生産者団体の方針が打ち出され、目標達成のための生産抑制が進められている。一方消費拡大についても全国規模で種々の施策が行われており、本県でも昨年9月に発足した宮城県牛乳普及協会が中心となって、福祉牛乳の推進など、消費拡大のための努力が進められている。こうした中で、県内産牛乳の消費拡大を少しで

も進めようと、県内の生産者と乳業者の協力による「統一ブランド牛乳—みやぎふるさと牛乳」を12月中旬から、県内スーパーや、牛乳販売店を通じ発売することになった。「みやぎふるさと牛乳」は、宮城県の提唱する「ふるさと県政」に呼応して名付けられたもので、牛乳に対する消費者理解と、県産品愛用をねらいとしており、製造には県内9つのメーカーが、写真にもあるように宮城県地図をデザイン化し、宮城県産牛乳と明示した三色カラー刷りのものに統一しており、1ℓの紙パックのものを1日12,000本、今年度一ぱいで約100万本を市価より若干安い価格で販売することになっている。なおこれに要する経費として宮城県が400万円を予算化し、県牛乳普及協会を通じ助成することになっている。

牛乳は冬場に消費量が停滞するので、この期間の消費量を伸ばすこと、近年非常に質の良くなった県内産生乳への消費者理解を深めることが大切なので、「みやぎふるさと牛乳」の販売成功が、県内酪農発展の一つのきっかけになるよう、関係機関の一層の御協力をお願いしたい。(宮城県畜産課酪農係)

「もうかる牛かいの思い出」を聞く

村田の町から菅生街道を北へ行くと、右手の小高い台地に「的場農場」がある。「足立的場さん」といえば、仙南地方の肥育牛の草分けとして、その道では知らぬ者はない。的場農場は乳用種を主体に、肥育牛150頭を飼養し、本県にあっては数少ない肥育専業経営である。第一線から退いてはいるものの、当農場の土台を築き、いまなおかくしゃくとして、牛への情熱を語る、的場芳松さん(75才)を柴田郡村田町足立の自宅を訪ね、古きよき時代の牛づくりの秘けつを聞いた。

的場さんの牛飼いの歴史は古く、昭和4年分家の際に田畑とともに、肥育もと牛(和牛)1頭を譲り受けてきて以来である。近年、肥育牛の飼養は濃厚飼料多給、長期肥育が普通だが、当時は短期省エネ型で、しかも収益性はすこぶる高い。まことに羨ましく趣あるものであった。

まず、もと牛は和牛雌の、5~6産を経たいわゆる「がんじょう牛」。体重350kgぐらいのものを3~4カ月間肥育して、500kg前後で出荷する。飼料はすべて自賄いだが、調理方法は大変手がこんでいる。主体は根菜、果菜類でカボチャ、カンショ、バレイショ、ダイコンにはん碑大麦を加えたもの。これを夜に煮ておき次の日の朝屋夕3回に分けて与える。給与時米ヌカをふりかけるのがミソである。そのほか稲ワラと夏期は野草、冬期はハギや野乾草を給与する。

牛舎は踏みこみ式で、冬期は防寒用のカヤで囲うため中はまっ暗になる。1農家1~2頭の飼養であった。

次に、肉牛1頭出荷するための損得勘定はというと、もと牛を175円で導入し、3~4カ月後家畜商に販売する時には350円、ちょうど元値の倍になったのである。経費は自賄いの飼料や燃料の評価が50円程度で、差引125円の所得となる。ちなみに当時、米の値段は1石(150kg)当り15~20円の時代であった。戦前、的場さんは田畑の耕作と冬の炭焼き、それに肥育牛で生計を立てていたわけで、今になってみれば「もうかる牛を早い時期に多頭化していたら、今頃は……」と悔んでいるのである。しかし、いずれにせよ分家以来山林や田畑を増やせたのは「牛かいのおかげ」で、今日の堅実経営の基礎を築いたもの。その間のご苦労はなみなみならぬものと推察し、深く敬意を表するしだいである。

(宮城県畜産会、石ヶ森周一)

TV番組「若い土」放送のご案内

農林水産省提供「若い土」シリーズで、肉用牛の一貫経営として、桃生郡河北町小船越、遠藤和祥さんの事例が放送されます。

2月24日(日) 仙台放送 7:00~7:15

人物紹介



秋元 武蔵氏

(現住所 仙台市長町4丁目2-4)
大正4年3月10日生

昭和9年3月、宮城県農学校獣医科を卒業された秋元さんは、海外に新天地を求めて台湾を皮切りに朝鮮、満洲と転任、現地の家畜防疫と畜産奨励に若き日の情熱を傾けられた。

戦後は、昭和23年2月から宮城県に勤務され、県種畜場、宮黒、亶理名取、刈田の各家畜保健衛生所長、ついで畜産課酪農係長、同技術補佐、さらには農業試験場畜産部長と数多くの要職につかれ、本県の畜産振興に多大の貢献をされた。

昭和48年3月に県を去る勇退後は、乞われて県畜産会常勤コンサルタントとして畜産農家の良き相談相手となり、農家経営の改善指導に当たられた。

秋元さんは、一見豪放らい落に見えるが、根は極めて繊細で、職場においては「人の和」を、うちにあっては「祖先崇拜」という信仰心を秘めておられた。しかし、なんとといっても印象に残るのは、あの宴席の妙技で、自らをアーさんと名付け、「同じ日本人じゃないか、一緒に仲良く飲もう」を連発すると、初体面の人でもいつのまにかそのペースに巻きこまれてしまうのが常であった。

秋元さんは現在、可愛いお孫さんにとり囲まれながら悠悠自適の毎日を送っておられるが、好漢アーさんのご健勝を心からお祈りするばかりである。(丹野)

畜産物の市況

種目	規格	単価	価格	摘要	
卵		1 kg	351円	卸売価格 12月平均	
ブロイラー	A級	と体1kg	259	〃	
豚肉	上	枝肉1kg	565	〃	
	中	〃	461	〃	
牛	和牛メス	上	〃	2,298	〃
	〃ヌキ	上	〃	2,262	〃
	〃ヌキ	中	〃	2,029	〃
肉乳牛メス	中	〃	1,658	〃	
	〃ヌキ	中	〃	1,534	〃
和牛子牛		1頭	387,989	1月10日 小牛田市場	
子豚		〃	16,330	12月25日 〃	

卵、ブロイラー、豚肉、牛肉価格……県経済連調べ
和牛子牛、子豚価格……県畜連調べ

賀 春

宮城県農業協同組合中央会長	木村秀 寿
宮城県経済農業協同組合連合会長	佐藤鉄 山
宮城県信用農業協同組合連合会長	岩松清 美
宮城県畜産農業協同組合連合会長	大石武 一
宮城県農業共済組合連合会長	鎌田安 治
宮城県生乳販売農業協同組合連合会長	米倉春 雄
宮城県畜産開発公社理事長	高斎橋元 三 郎
宮城県緬羊農業協同組合連合会会長	二藤瓶 泰 助
宮城県草地協会長	鈴木木 林 太 郎
宮城県獣医師会長	佐々木 利 武 吉 一
宮城県酪農協会長	大勝石 又 秀 雄 山
宮城県ホルスタイン協会長	佐藤藤 利 利 英 吉 一
日本軽種馬協会宮城県支部長	横山藤 利 武 吉 一
日本種豚登録協会宮城県支部長	佐谷石 谷 寿 夫 郎
日本あか牛登録協会宮城県支部長	佐木木 正 太 郎
全国和牛登録協会宮城県支部長	百藤本 真 治 郎
宮城県肉用牛協会長	横山藤 利 武 吉 一
宮城県家畜畜産物衛生指導協会長	佐藤石 谷 寿 夫 郎
宮城県乳業協会長	大岩鈴 遠 真 治 郎
宮城県家畜商協同組合長	山本藤 利 武 吉 一
宮城県養鶏協会長	佐藤本 利 武 吉 一
宮城県ホルスタイン改良同志会長	山本藤 利 武 吉 一
宮城県家畜人工授精師協会長	山本藤 利 武 吉 一
宮城県肉用牛価格安定基金協会長	山本藤 利 武 吉 一
宮城県畜産物価格安定基金協会長	山本藤 利 武 吉 一
宮城県畜産会長	山本藤 利 武 吉 一

(順不同)

畜産物価格安定基金制度を活用して、畜産危機を乗り越えましょう

飼料、肉豚、肉牛、ブロイラー、鶏卵の
安定基金加入契約は1月31日までに!!

農 業 協 同 組 合
宮 城 県 経 済 農 業 協 同 組 合 連 合 会
社 団 法 人 宮 城 県 畜 産 物 価 格 安 定 基 金 協 会